



2025年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社エージェントIGホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 一戸 敏  
(コード：377A 名証メイン市場)  
問合せ先 取締役専務上級執行役員 高橋 真喜子  
(TEL 03-6280-7818)

上場廃止となった子会社（株式会社エージェント・インシュアランス・グループ）  
に関する決算開示について

2025年7月1日付で当社の完全子会社となった株式会社エージェント・インシュアランス・グループに関する「2025年12月期第2四半期決算短信（連結）（2025年1月1日～2025年6月30日）」について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上



## 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社エーエージェント I Gホールディングス 上場取引所 名  
(株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループ分)  
コード番号 377A URL https://a-gent.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一戸 敏  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務上級執行役員 (氏名) 高橋 真喜子 TEL 03-6280-7818  
半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	6,275	226.4	△44	—	△49	—	△40	—
2024年12月期中間期	1,922	14.1	91	182.6	86	172.1	45	122.9

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 △57百万円 (—%) 2024年12月期中間期 66百万円 (113.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△17.48	—
2024年12月期中間期	19.79	—

(注) 2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	4,838	1,269	25.3
2024年12月期	5,208	1,308	24.6

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 1,223百万円 2024年12月期 1,281百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 株式会社エーエージェント I Gホールディングスの2025年12月期の配当予想につきましては、2025年7月1日公表の「2025年12月期通期業績予想及び配当予想のお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループは、2025年6月27日付で上場を廃止していることから連結業績予想を記載しておりません。

株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの完全親会社である株式会社エーエージェント I Gホールディングスの連結業績予想につきましては、2025年7月1日公表の「2025年12月期通期業績予想及び配当予想のお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期中間期	2,322,848株	2024年12月期	2,323,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	一株	2024年12月期	152株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年12月期中間期	2,322,848株	2024年12月期中間期	2,322,896株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当中間連結会計期間における日本経済は、個人消費や企業の生産活動を中心に経済活動の正常化が緩やかに進んだものの、米国における政権交代や不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や物価の上昇等、未だ先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは持続的な成長を実現するため、国内・海外とも、引き続きWebによる面談、コンサルティング等を積極的に取り入れるとともに、AIやIT技術を活用したデジタル接点の強化を図り、お客様の利便性向上に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における営業収益は6,275,858千円(前年同期比226.4%増)、営業損失は44,220千円(前年同期は営業利益91,614千円)、経常損失は49,974千円(前年同期は経常利益86,609千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は40,611千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益45,976千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 国内事業

国内事業においては、2024年4月に株式取得したファイナンシャル・ジャパン株式会社の損益が、前連結会計年度第3四半期より連結対象となったことにより、同社の主要商品である生命保険の売上が大幅に増加いたしました。また、当社ビジネスモデルの根幹でもある事業承継も順調に進み、2025年3月に滋賀支店、2025年5月に広島支店をそれぞれ開設いたしました。事業承継の取組みにより募集人が当社に合流し、募集人が保有する保険契約の譲り受けを通じて、損害保険の売上は順調に推移しました。

一方で、国内保険業界の動向を踏まえ、より一層の組織体制と運営体制の強化を図るため、人員の増強等に政策的に費用を投下したほか、国内子会社2社(ファイナンシャル・ジャパン株式会社、株式会社保険ショップエージェント)における本社移転費用や、2025年1月に実施した株式会社コスモアビリティの株式取得に係るアドバイザー費用など、一過性の費用が発生いたしました。

この結果、同事業の当中間連結会計期間における営業収益は6,104,234千円(前年同期比252.5%増)、セグメント損失は68,386千円(前年同期はセグメント利益44,336千円)となりました。

#### ② 海外事業

米国においては、新規保険獲得件数が増えたことや、既存の法人顧客の売上拡大に伴う保険料の増加、既存の法人顧客・個人顧客へのクロスセルなどにより、保険の販売は順調に推移したものの、為替レートの影響などにより営業収益は減少いたしました。また今後もローカルマーケットの新規開拓に注力すべく積極的に体制強化に取り組みました。

この結果、同事業の当中間連結会計期間における営業収益は171,624千円(前年同期比10.2%減)、セグメント利益は18,412千円(前年同期比56.4%減)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び資本の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,986,066千円となり、前連結会計年度末に比べ472,671千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が455,342千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,852,348千円となり、前連結会計年度末に比べ102,738千円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加78,979千円によるものであります。

この結果、総資産は、4,838,415千円となり、前連結会計年度末に比べ369,933千円減少いたしました。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,722,693千円となり、前連結会計年度末に比べ214,967千円減少いたしました。これは主に営業未払金が167,879千円減少したことによるものであります。

固定負債は846,044千円となり、前連結会計年度末に比べ116,067千円減少いたしました。これは主に長期借入金金の減少116,446千円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,568,737千円となり、前連結会計年度末に比べ331,034千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,269,677千円となり、前連結会計年度末に比べ38,898千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が40,823千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.3% (前連結会計年度末は24.6%) となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて455,342千円減少し、1,560,327千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は114,714千円(前年同期は172,767千円の収入)となりました。主な増加要因は、減価償却費55,784千円、のれん償却額31,933千円、賞与引当金の増加額44,802千円等であり、また、主な減少要因は、税金等調整前中間純損失52,174千円、営業未払金の減少額151,512千円、未払消費税等の減少額71,551千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は200,793千円(前年同期は173,490千円の支出)となりました。主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入4,456千円、敷金及び保証金の回収による収入5,364千円等であり、また、主な減少要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出99,880千円、無形固定資産の取得による支出70,184千円、有形固定資産の取得による支出26,534千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は122,399千円(前年同期は819,449千円の収入)となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出116,446千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループは、2025年6月27日付で上場を廃止していることから連結業績予想を記載しておりません。

株式会社エーエージェント・インシュアランス・グループの完全親会社である株式会社エーエージェント I Gホールディングスの連結業績予想につきましては、2025年7月1日公表の「2025年12月期通期業績予想及び配当予想のお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,015,669	1,560,327
売掛金	1,281,950	1,277,722
その他	169,553	157,421
貸倒引当金	△8,435	△9,404
流動資産合計	3,458,737	2,986,066
固定資産		
有形固定資産	113,123	122,194
無形固定資産		
のれん	864,895	917,329
その他	387,409	413,954
無形固定資産合計	1,252,304	1,331,283
投資その他の資産		
繰延税金資産	242,511	249,876
その他	142,170	149,494
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	384,182	398,870
固定資産合計	1,749,610	1,852,348
資産合計	5,208,348	4,838,415
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	232,892	232,892
営業未払金	1,675,455	1,507,576
未払法人税等	118,292	17,092
代理店手数料返金負債	339,700	368,177
賞与引当金	87,032	136,704
移転損失引当金	2,117	-
資産除去債務	5,760	-
その他	476,408	460,249
流動負債合計	2,937,660	2,722,693
固定負債		
長期借入金	956,816	840,370
その他	5,296	5,674
固定負債合計	962,112	846,044
負債合計	3,899,772	3,568,737
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	336,364	336,364
資本剰余金	245,848	245,848
利益剰余金	656,481	615,657
自己株式	△212	-
株主資本合計	1,238,482	1,197,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206	246
為替換算調整勘定	42,383	25,869
その他の包括利益累計額合計	42,590	26,115
新株予約権	27,503	45,691
純資産合計	1,308,575	1,269,677
負債純資産合計	5,208,348	4,838,415

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 (中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	1,922,992	6,275,858
営業費用	1,831,377	6,320,079
営業利益又は営業損失 (△)	91,614	△44,220
営業外収益		
受取利息	15	754
補助金収入	-	2,177
その他	198	2,545
営業外収益合計	213	5,478
営業外費用		
支払利息	4,568	9,519
その他	650	1,713
営業外費用合計	5,219	11,232
経常利益又は経常損失 (△)	86,609	△49,974
特別利益		
固定資産売却益	-	768
特別利益合計	-	768
特別損失		
減損損失	4,201	-
固定資産除却損	-	2,266
移転損失	-	701
その他	339	-
特別損失合計	4,540	2,967
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	82,068	△52,174
法人税等	36,091	△11,562
中間純利益又は中間純損失 (△)	45,976	△40,611
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	45,976	△40,611

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	45,976	△40,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	39
為替換算調整勘定	20,953	△16,514
その他の包括利益合計	20,953	△16,474
中間包括利益	66,929	△57,086
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	66,929	△57,086

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益		
又は税金等調整前中間純損失(△)	82,068	△52,174
減価償却費	46,828	55,784
のれん償却額	-	31,933
減損損失	4,201	-
株式報酬費用	9,226	18,188
移転損失引当金の増減額(△は減少)	-	△2,117
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	44,802
代理店手数料返金負債の増減額(△は減少)	3,825	28,801
受取利息及び受取配当金	△15	△754
固定資産売却損益(△は益)	-	△768
固定資産除却損	-	2,266
為替差損益(△は益)	△0	20
支払利息	4,568	9,519
受取保険金	-	△661
支払手数料	-	1,285
売上債権の増減額(△は増加)	77,575	13,909
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,601	△71,551
営業未払金の増減額(△は減少)	△11,977	△151,512
未払費用の増減額(△は減少)	6,235	20,174
預り金の増減額(△は減少)	954	21,484
その他	△4,902	△15,977
小計	205,988	△47,346
利息及び配当金の受取額	15	754
利息の支払額	△4,496	△9,581
保険金の受取額	-	661
法人税等の支払額	△29,344	△60,347
法人税等の還付額	604	1,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,767	△114,714
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,128	△26,534
有形固定資産の売却による収入	-	4,456
無形固定資産の取得による支出	△24,487	△70,184
長期貸付けによる支出	△1,000	-
長期貸付金の回収による収入	334	261
敷金及び保証金の差入による支出	△6,057	△8,236
敷金及び保証金の回収による収入	1,165	5,364
資産除去債務の履行による支出	-	△6,039
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△134,317	△99,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,490	△200,793
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	900,000	-
長期借入金の返済による支出	△74,396	△116,446
リース債務の返済による支出	△6,154	△5,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	819,449	△122,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,415	△17,434
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	839,142	△455,342
現金及び現金同等物の期首残高	944,230	2,015,669
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,783,372	1,560,327

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	国内事業	海外事業	合計 (注)
営業収益			
保険代理店事業	1,731,856	191,135	1,922,992
顧客との契約から生じる収益	1,731,856	191,135	1,922,992
外部顧客への営業収益	1,731,856	191,135	1,922,992
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—
計	1,731,856	191,135	1,922,992
セグメント利益	44,336	42,272	86,609

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、ファイナンシャル・ジャパン株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「国内事業」において2,669,239千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当中間連結会計期間において、ファイナンシャル・ジャパン株式会社の株式を取得して連結子会社としたことにより、「国内事業」セグメントにおいて、のれんの金額が813,050千円増加しております。なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定した金額であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	国内事業	海外事業	合計(注)
営業収益			
保険代理店事業	6,060,374	171,624	6,231,999
その他	43,859	—	43,859
顧客との契約から生じる収益	6,104,234	171,624	6,275,858
外部顧客への営業収益	6,104,234	171,624	6,275,858
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—
計	6,104,234	171,624	6,275,858
セグメント利益又は損失(△)	△68,386	18,412	△49,974

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の経常損失と一致しております。

(重要な後発事象)

(単独株式移転による持株会社体制への移行)

当社は、2025年7月1日を期日として、当社単独による株式移転(以下「本株式移転」といいます。)により、持株会社(完全親会社)である「株式会社エージェンツ I Gホールディングス」(以下「持株会社」といいます。)を設立し、持株会社体制へ移行することを2025年2月14日開催の取締役会で決議いたしました。

なお、2025年3月27日に開催された当社の定時株主総会において、株式移転計画は承認され、2025年7月1日付で持株会社が設立されました。

1. 単独株式移転による持株会社体制への移行の背景・目的

当社は、「お客様の利益創出に最善を尽くす」という企業理念のもと、損害保険中心の保険代理店として、これまで636件の損害保険代理店のM&A及び事業承継を行い、規模を拡大してまいりました。また、子会社である Agent America, Inc. は、世界最大の保険マーケットを有する米国において、4拠点を構え、米国においても保険ブローカーのM&A及び事業承継を推進しております。

2024年4月には、生命保険を主軸とする総合保険代理店を営むファイナンシャル・ジャパン株式会社の全株式を取得し、生命保険・損害保険・海外保険ブローカーの3つの主軸を有する企業グループとなり、大きな業界再編の流れに直面している保険業界において、確固たる地位を築くべく、盤石な経営体制の構築、マーケットの拡大、そして利益率の高いイノベティブな組織への変革を推進しております。

また、重要な成長戦略の一つとして「テクノロジーの活用」を掲げ、2025年1月には、システム開発領域において30年以上に渡る実績と高い技術力を有する株式会社コスモアビリティを子会社化し、デジタルを活用したお客様の利便性向上にも取り組んでおります。

上記のような事業展開を踏まえて、今後はより機動的かつ戦略的にM&A及び事業承継を行い、迅速な意思決定のもと持続的成長と企業価値向上を実現できる企業体制へと進化を遂げる必要があると考え、持株会社体制へ移行することが適切であると判断いたしました。

2. 本株式移転の要旨

(1) 本株式移転の日程

定 時 株 主 総 会 基 準 日	2024年12月31日
株 式 移 転 計 画 承 認 取 締 役 会	2025年2月14日
株 式 移 転 計 画 承 認 定 時 株 主 総 会	2025年3月27日
当 社 株 式 上 場 廃 止 日	2025年6月27日
持 株 会 社 設 立 登 記 日 ( 効 力 発 生 日 )	2025年7月1日
持 株 会 社 上 場 日	2025年7月1日

(2) 本株式移転の方式

当社を株式移転完全子会社、持株会社を株式移転設立完全親会社とする単独株式移転です。

(3) 本株式移転に係る割当ての内容(株式移転比率)

会 社 名	株式会社エージェント I G ホールディングス (完全親会社・持株会社)	株式会社エージェント・ インシュアランス・グループ (完全子会社・当社)
株 式 移 転 比 率	1	1

① 株式移転比率

本株式移転により持株会社が当社の発行済株式の全部を取得する時点の直前時における当社の株主の皆様に対し、その保有する当社の普通株式1株につき設立する持株会社の普通株式1株を割当交付いたしました。

② 単元株式数

持株会社は、単元株制度を採用し、1単元の株式数を100株といたしました。

③ 株式移転比率の算定根拠

本株式移転は、当社単独による株式移転によって完全親会社1社を設立するものであり、本株式移転時の当社の株主構成と持株会社の株主構成に変化がないことから、株主の皆様が不利益や混乱を与えないことを第一義として、株主の皆様が保有する当社の普通株式1株に対して持株会社の普通株式1株を割当交付いたしました。

④ 第三者算定機関による算定結果、算定方法及び算定根拠

上記③のとおり、本株式移転は当社単独の株式移転であり、第三者算定機関による株式移転比率の算定は行っておりません。

⑤ 本株式移転により交付する新株式数

普通株式2,322,848株

(4) 当該組織再編に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行している新株予約権については、当該新株予約権の保有者に対し、その有する当社新株予約権に代えて、当社の新株予約権と同等の内容の持株会社新株予約権を交付し、割り当ていたしました。

なお、当社は、新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 本株式移転により新たに設立した会社(株式移転設立完全親会社・持株会社)の概要

(1)	名 称	株式会社エージェント I Gホールディングス
(2)	所 在 地	東京都新宿区市谷本村町3番29号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 一戸 敏
(4)	事 業 内 容	グループ会社の経営管理及びこれに付帯する業務
(5)	資 本 金	50百万円
(6)	決 算 期	12月31日

4. 会計処理の概要

本株式移転は、企業会計上の「共通支配下の取引」に該当するため、損益への影響はありません。

5. 今後の見通し

本株式移転に伴い、当社は、持株会社の完全子会社となりました。これにより、当社の業績は株式移転設立完全親会社である持株会社の連結業績に反映されることとなります。なお、本株式移転による業績への影響は軽微であります。

(持株会社体制移行後のグループ組織再編 (略式・簡易吸収分割) )

当社は、2025年8月14日開催の取締役会において、本株式移転の効力発生を条件として、当社を吸収分割会社、株式会社エージェント I Gホールディングスを吸収分割承継会社とする吸収分割 (以下「本吸収分割」といいます。) を実施することを決議しました。

1. 本吸収分割の要旨

(1) 本吸収分割の日程

取締役会決議日 (両社)	2025年8月14日
契約書締結日 (両社)	2025年8月14日
実施予定日 (効力発生日)	2025年10月1日

(注) 本吸収分割は、当社においては会社法第784条第1項に規定する略式分割、株式会社エージェント I Gホールディングスにおいては会社法第796条第2項に規定する簡易分割に該当するため、それぞれ吸収分割契約承認の株主総会を開催いたしません。

(2) 本吸収分割の方式

当社を分割会社とし、株式会社エージェント I Gホールディングスを承継会社とする吸収分割です。

(3) 本吸収分割に係る割当ての内容

本吸収分割は、完全親子会社間での会社分割であり、本吸収分割に際し、株式会社エージェント I Gホールディングスは当社に対して分割対価を交付しません。

(4) 新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当する事項はありません。

(5) 本吸収分割により増減する資本金

本吸収分割により増減すべき資本金はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

株式会社エージェント I Gホールディングスは、本会社分割の効力発生日において、当社の関係会社管理事業及び財務管理事業並びにこれらに付随する事業に属する権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継します。

(7) 債務履行の見込み

本吸収分割の効力発生日以後における当社の債務の履行の見込みに問題はないものと判断しております。

2. 本吸収分割の当事会社の概要

		承継会社	分割会社
①	商号	株式会社エージェント I Gホールディングス	株式会社エージェント・インシュアランス・グループ
②	本店所在地	東京都新宿区市谷本村町3番29号	東京都新宿区市谷本村町3番29号
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 一戸 敏	代表取締役社長 一戸 敏
④	事業内容	グループ会社の経営管理及びこれに付随する業務	保険代理店事業
⑤	資本金	50,000千円	336,364千円
⑥	設立年月	2025年7月	2001年6月
⑦	発行済株式数	2,322,848株	2,322,848株
⑧	決算期	12月31日	12月31日
⑨	大株主及び持株比率	住友生命保険相互会社 30.46% 株式会社ザ・ファーストドア 19.61% 東京海上日動火災保険株式会社 8.44% 宮脇 邦人 3.75% 伊藤 真吾 3.55% 川野 潤子 2.87% 株式会社MFTrustLead 2.50% 一戸 敏 2.21% 高橋 真喜子 1.53% 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 1.51% (2025年6月30日現在)	株式会社エージェント I Gホールディングス 100% (2025年8月14日現在)
⑩	直前事業年度の財政状態及び経営成績(2024年12月期、連結) (注)		
	純資産	-	1,308,575千円
	総資産	-	5,208,348千円
	1株当たり純資産	-	551.51円
	営業収益	-	8,161,281千円
	経常利益	-	133,551千円
	親会社株主に帰属する当期純利益	-	53,355千円
	1株当たり当期純利益	-	22.97円

(注) 承継会社は、2025年7月1日に設立されたため、直前事業年度が存在しません。

3. 承継する資産の概要

(1) 承継する部門の事業の内容

エージェント・インシュアランス・グループの関係会社管理事業及び財務管理事業並びにこれらに付随する事業を承継します。

(2) 承継する部門の経営成績

該当する事項はありません。

(3) 承継する資産、負債の項目及び金額

資産		負債	
流動資産	1,268千円	流動負債	159,496千円
固定資産	1,151,812千円	固定負債	715,650千円
合計	1,153,080千円	合計	875,146千円

(注) 2025年6月30日現在の貸借対照表を基に算出しているため、実際に承継される金額は上記帳簿価額に効力発生日前日までの増減を調整したものととなります。

(4) 本吸収分割後の状況

本吸収分割後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

(5) 今後の見通し

本吸収分割による連結業績への影響はありません。